

— 北 部 九 州 —

‘07夏休み 各テーマパーク 入場者数 酷暑の為 微増！



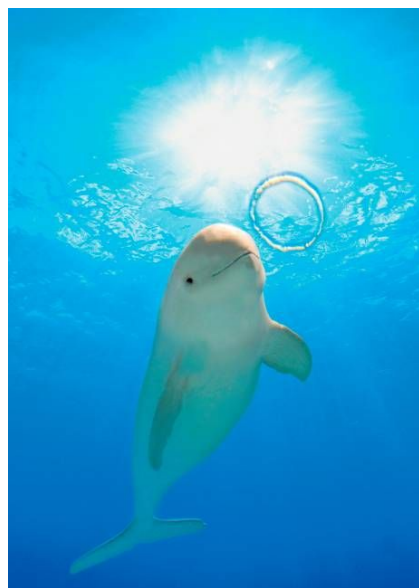
「スペースロックパーティ」 (スペースワールド)

今年の夏休み期間中(7月21日～8月31日)、北部九州の各テーマパークの入場者数が、このたびまとまった。

今年の各テーマパークの入場者数は、北部九州は天候等に恵まれ、昨年並みか昨年より微増の傾向となった。

スペースワールドでは、「前半の猛暑がきつかったが、台風が今回はこなかったことと、プールそれにトワイライトパレードや夜のバイキングなどが功を奏した」として36万人(35万人)の微増と公表。門司港レトロでは、「平成15年・16年は255万人・233万人とNHKの大河ドラマ等の影響でかなりの人手だった。現在はそれも落ち着き平成14年の211.5万人と比較すると昨年は214万人と伸びている。今年は昨年より若干人手は多かったと思う」と予想した。到津の森公園は、「夜の動物園の認知度アップ。それと、世界のカブトムシ・クワガタ展が好評であったことと、8月の

好天に恵まれたことが若干の増になったのではないかと前年を10%上回る55,220人と公表。市立しものせき水族館、通称海峡館では、「昨年とイベントなど殆ど変わらないが、スナメリのバブルリングなどが好評だったので微増につながった」と分析し、149,706人(147,875人)と発表。かしいかえんでは、「ドーナツ型の150mプールが人気があり、酷暑ということが逆に良かったのでは」として、昨年より若干増加したとして36,794(35,878)人と公表。マリンワールド海の中道は、「天候の影響とアクセスの関係によりガソリンの高騰が響いたのではないかと」として、164,370人と公表。また、大分県のうみたまごは、「イルカのスプラッシュショーが好評であったが、8月2・3日の台風の影響で、減少したと思う」として約1万人減の205,000人、城島後楽園は、「やはり、8月2・3日の台風の影響で、減少した」として、124,200人と公表。長崎県のハウ



スナメリの「バブルリング」
海響館「市立下関水族館」
(写真提供：海響館)

ステンボスは、「宿泊者数の増加や海外からの来場者も増加しており、地球環境をテーマにしたKirara(キララ)やグランオデッセイの他、水の王国(写真)がお子様連れのファミリー層に好評であった」として347,800(336,500)人と前年を上回る結果と発表。



「水の王国」 ハウステンボス (写真提供：ハウステンボス)